

三子下

福生町議會

簡單でござりますが、一応提案理由の説明を
終ります。

議長 田村匡雄君 以上で提案理由の説明は終ります。
いた。

二の三の本議に好する質疑を行ないます。

議長 田村匡雄君 (一) 質疑はしと仰る者あり)
以上で質疑を終ります。

おはかりいたします。議案オ二十号は原案
とあり決するに二の三ありませんか

議長 田村匡雄君 (一) 質疑はしと仰る者あり)
議案オ二十号は原案とあり決するに二の三あり

議長 田村匡雄君 二の三あり決するに二の三あり

議長 田村匡雄君 おはかりいたします。今日の合議時

間は午後五時三十分とあります。議事の都合上
あらかじめ延長したいと思ひます。この

福生町議会

に二の三ありませんか。

議長 田村匡雄君 (一) 質疑はしと仰る者あり)
二の三あり決するに二の三あり

議長 田村匡雄君 二の三あり決するに二の三あり

議長 田村匡雄君 二の三あり決するに二の三あり

議長 田村匡雄君 二の三あり決するに二の三あり

議長 田村匡雄君 二の三あり決するに二の三あり

議長 田村匡雄君 二の三あり決するに二の三あり

議長 田村匡雄君 二の三あり決するに二の三あり

議案二二
議案二三
議案二四

います。

よろしくご審議をいた下さるそう、この決りだた
きより、お願ひ申しあげます。以上で提案理由の説明は終了し
ます。

二枚より質疑を行ないます。

議長(田村匡雄君) 十番り杉重雄君

十番り杉重雄君 下だいたし説明が、おりましたか、二百

五十万の減という点に、どうも、明確に説明を

いた下さったと思います。手前、どうも、おりました

ますと、と、救済が、減らすという、減らすと、

い、おりましたか、と、救済が、わかりました、お願

ひいたします。

議長(田村匡雄君) 産業課長 田村和雄君

産業課長(田村和雄君) 自席から、お話しさせていただきます。

と、ご答申しあげます。



二百五十万の減りを出して二百五十万に減額を
した、おりましたが、当初予定した、おりました、減額が、

た、おりました、おりました、おりました、おりました、

また、本年度の、減額報告が、おりました、おりました、

い、おりました、おりました、おりました、おりました、

半月ほど、おりました、おりました、おりました、

人々、おりました、おりました、おりました、おりました、

福生のと、おりました、おりました、おりました、

く、おりました、おりました、おりました、おりました、

議長(田村匡雄君) ほか、質疑は、おりました、

議長(田村匡雄君) 以上で質疑を終ります。

おぼかり、おりました、おりました、おりました、

い、おりました、おりました、おりました、おりました、

議長(田村匡雄君) 以上で議事を終ります。

議十九 議二十 議二十一 議二十二 議二十三 議二十四 議二十五 議二十六 議二十七 議二十八 議二十九 議三十

○議長(田村匡雄君) (日里議はしと呼ぶ者あり) 以上で質疑を終ります。

○議長(田村匡雄君) おほかりいたします。議案オ二十三号は原案ど

あり決すまに日里議ありませんか (日里議はしと呼ぶ者あり) 議案オ二十三号は原案ど

○議長(田村匡雄君) 日里オ二十五議案オ二十四号は原案ど

十四年度福生村一般合計予算と議題といたします。事務局長と日里議案の朗読をいたします。

(前正) 五頁 住居税計額市費中七割二二〇と二二〇に

二〇八頁 給食費理責の費用費中七割二二〇と二二〇に 国都(支)出金二二〇と削除

福生町議 会

田村匡雄

田村匡雄

五頁

三三頁 元会中一般財源二二〇と二二〇と六五三に

(島田謙介事務局長朗読) 省略

○議長(田村匡雄君) 以上で朗読は終りました。本議案案に付て提案理由の朗読をいたします。

○議長(田村匡雄君) 議案オ二十三号は原案ど

(助役 藤崎俊夫君 登壇)

○助役(藤崎俊夫君) 議案オ二十三号は原案ど

福生村一般合計予算案に付てその内容を二説明

甲しあげたいと存じます。昭和四十四年度は原案の下欄に付ては、日里長さんから所信の表明がございまして、私からその説明と重複しない範囲内は本当初予算案の原案に付てその説明を甲しあげたいと存じます。一頁に記載

新刻

来年度かりは五百万石に、
現行の自由で取り子りものど、四月一日から
まぐにほるよりぐいすり。
この賣入がス税
につく子りの福生けの影響は、
子りの福生けに及する影響は比較的輕微で二
つ子り、手廻り田十不米程度の減収にとどま
ると予想される。ぐいすり
以上申しあげました事項が来年度実施されると
予想され子り国の市町村税制改正案の内容は概ね
ごういすが、本予算案の増収見込みは
いふか二倍の福利改革の予想をおり込んむ計
算したにちものぐいすり、結果的には各税目と
も相当程度の自然増収を見込んで計上することか
ら子り、その結果昌頭申しあげましたとおり
一割の増収収入全体といひますは来年度当初
予算に比較したに子り二十%の増収、来年度

最終予算額に比較したところ、十二%の増収を
当初から見込むことか、まことに不承でござります。
それから二頁から四頁にかけて記載されてあり
ます。二款の自動車取得税は金収入以下、
十三款の債収に充てられ、お預収以外の各
款のオ入予算額の見積りにつきます。五と
六のオ二款の自動車取得税は金収入と、オ五
款の交通安全対策特別交付金収入につきます。
その手度におくは手度中途の七月一日から実施
されます。関係から、その手度は九カ月分しか予算に
見積ることはできません。たまたま、本予算案
におくは、その手度予算よりも三カ月分多い収入を見
込むことか、まことに、あつたはまたオ三款の通称
基礎交付金は金収入につきます。国の交付金予算は
額がご承知のように、その手度十九億は、かう来手度
に十六億に増額されております。関係から、その比率は



予算を多く見積ることは、まことに、等々、その
各款項の算定に即して、それから収入見込
み額を計算した不承でござります。その収入見
込み額は、その現段階におくは、ほぼ確定
に、見積る。最下限度の金額を計上する。ように
努力した。不承でござります。それからオ入予算の
予算額、規模は、昨日の長さん、かりお話しがあ
り。した。と、あり。総額、億、五千万と、はつた。不承でござ
ります。二、その手度当初予算の総額、一億一
千、百、余、万、円、と、記載して、あります。昨日の長さん、か
り、お話しした。ように、三、七、億、に、はつた。ある。の、で、ござ
ります。
それから五頁、六頁、七頁に、記載されてあり。ます。オ入
予算に、ついで、説明、して、あげ、ます。
その、オ入、予算、案、に、お、け、り、ます。その、基本的な
方針で、ござります。が、もちろん、人件費、加付費、